



9月議会 総括質問 (菅井 巖議員)

小規模事業者への市独自支援再実施は

市長「国・県の支援策活用促しながら独自支援も検討したい」

鶴岡市議会9月定例会が6日開会され、日本共産党市議団を代表して菅井巖議員が、①コロナ禍と物価高騰のもとでの市の決算と予算、②農産物の価格低迷、③雇用労働の実態と小規模事業者支援、④コロナ禍の医療と介護、福祉の現状について、総括質問を行いました。

「国・県の支援策活用促しながら独自支援も検討したい」

菅井 巖
中 桶 9 6
33-0534

市長 国・県の支援事業の活用を基本とし、市の独自支援策を引続き検討したい。

調査を行っている。2月～6月対象の調査を7月に実施し、市HPに公表している。売上が「コロナ以前と比較して下回っている」との回答が54.4%で、宿泊業と飲食業では依然として厳しい状況にある。

コロナ禍・物価高騰の影響は



問 コロナ禍での市民活動や、地域活動への影響はどうか。

市長 イベントや地域行事の中止・縮小が余儀なくされた。

ウイズコロナの観点から、全てのコミセンのホール等に順次、公衆無線LANの環境を整備する。

農産物の価格低迷、肥料価格高騰

問 米価は低迷したままで、ただち豆は盆前から市場価格が急落し、本市の主力品目の価格動向はどうか。

市長 昨年産「はえぬき」の今年7月の価格が、60キ1万2457円で前年産より安い。ただち豆は他産地

との競合もあり、8月中下旬から価格が低迷し、値決め販売などで一定の単価下支えはあるが、販売額への影響は生じる。

備予定である。問 物価高騰による昨年度決算や、今年度予算への影響はどうか。市長 事業費の積算見直しや工期延長、納期設定の見直しなど、様々な事業に影響を及ぼしている。

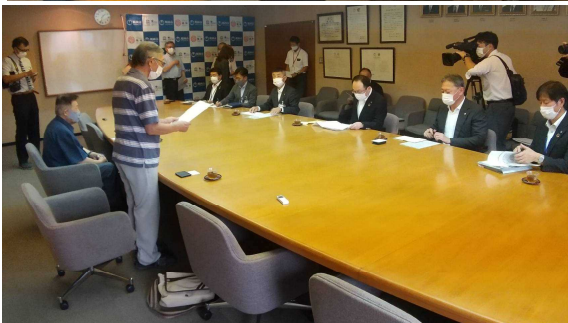
問 コロナ禍での就労先の変化や、非正規雇用の実態はどうか。市長 ハローワーク鶴岡の令和4年7月の有効求人倍率は1.97倍で、新卒高校生は3.12倍だ。特に建築や土木、製造業は求人倍率が高い傾向にある。

問 介護・介護・福祉の現状は。市長 介護の17事業所と、障害福祉の14事業所の通所訪問事業所で、感染拡大防止の面から、事業所判断での臨時休止について把握している。

加茂地区風力発電 計画の中止を要望

出羽三山の自然を守る会が市長に

加茂地区の風力発電施設の設置計画について、出羽三山の自然を守る会（鈴木勝也会長代理）は7日、皆川治鶴岡市長に対して、計画の中止を求める要望書を提出しました（左記・要望書）。



守る会の佐久間憲生理事長と、庄内自然調

皆川市長は、山形県

市長「ラムサール湿地に望ましくない」

菅井巖議員も同行しま

査会の水野重紀代表が

（1面のつづき）
問 生活保護利用者の現状は、2013年からの段階的基準引き下げによって、食費や光熱費など生活扶助費の基準額が平均6・5%削減された。
物価高騰で食品の値上げは年内に2万品目を超えるといわれる。削減されてきた生活保護基準と、冬季加算の引き上げを求めるべ

書」で、ラムサール湿地は「望ましくない地域」としている

と説明し、「しっかりと検討が必要と考えている」と述べました。

9月議会一般質問で、菅井巖議員と草島進一議員が、この問題をとり上げました。

きではないか。市長 生活保護基準は5年に一度の国の社会保障審議会で、国民の消費動向や社会経済情と県に状況を伝える。物価高騰の状況や影響を注視しながら、国勢など勘案して改正される。

土木課入札結果（ ）内は予定価格

- 9月8日入札分
- ・市道神馬沢1号線神馬沢橋橋梁補修設計業務（小国地内）（入札9業者）（株）榎本測量設計事務所 2,700,000円（2,760,000円）
期間～5/1/13（落札率97.83%）
 - ・市道十王堂橋線（十王堂橋）道路改良工事（三瀬地内）（入札6業者うち2業者辞退）菅原建設（株）111,000,000円（113,080,000円）工期～5/3/28（落札率98.16%）

櫛引庁舎市民福祉課入札結果（ ）内は予定価格

- 9月8日入札分
- ・くしびき温泉ゆ～Town2階男子浴室天井改修工事 不調

雨水事務室入札結果（ ）内は予定価格

- 9月6日入札分
- ・市公共下水道事業 雨水道形第1排水区調査測量設計業務（宝田一丁目地内ほか）（入札10業者）（株）鈴木測量事務所 15,500,000円（16,030,000円）期間～5/3/24（落札率96.69%）

2022年9月7日

鶴岡市長 皆川治 殿

出羽三山の自然を守る会
会長代理 鈴木勝也

鶴岡市加茂地区の風力発電計画について（要望）

初秋の候、貴職ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、市政発展のため、ご活躍されておりますことに心より敬意を表します。

この度、ジャパン・リニューアブル・エナジー（株）が鶴岡市加茂地区に発電用大型風車の建設を計画しているとのことです。

当会はこの建設について、下記の通り強く要望します。

要望事項

加茂地区の風力発電計画は中止させていただきたい。

要望理由

1 計画されている地域は、2008年10月にラムサール条約に指定された「大山上池・下池」に隣接します。高館山や都沢湿地を含めて約200種の野鳥が確認され、秋にはコハクチョウ・マガモを中心とした冬鳥の飛来地となっており、その貴重さは周知のことです。

また、これらの渡り鳥のルートにもあたり風車に対する野鳥の衝突の可能性が高く危険です。

2 計画されている加茂地区は日本遺産として「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」として2019年に追加認定された地域です。

この認定にあたり、当時の鶴岡市は2017年に既に指定されていた酒田市と同等の貴重な地域であることを強調して追加認定に至ったもので、自他共に大切にしなければならない地域です。

鶴岡市のガイドラインでも日本遺産には風力発電施設は設置しない、としています。

3 高館山から荒倉山、由良に至る尾根筋は現在、「日本海アルプス」と紹介され、低山の山歩きに広く利用されております。また多くの山野草が自生し、帰化植物が少なく自然度の高い、市民が手軽に訪れることのできる花の山として脚光を浴びております。計画はこの地帯にあって、市民の利用は制限され自然の破壊につながるだけでなく、景観をも壊します。

4 計画されている地域は住宅地と隣接し、鶴岡市の風力発電施設の建設に関するガイドラインの、住宅地から600m以上離れていることに抵触します。

なお、この件について市長のお考えを伺いたく、9月末までご返事をお待ちしています。